

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年6月16日（第1.0版）

承認番号	26062
課題名	低侵襲心臓手術における一側肺換気回避と片側性肺水腫発生率との関連：後ろ向き観察研究 Incidence of Unilateral Pulmonary Edema Following Minimally Invasive Cardiac Surgery Using a One-Lung Ventilation Avoidance Strategy: A Retrospective Observational Study
研究期間	西暦 2026 年 7 月 15 日（実施許可日）～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2014年4月～2026年5月の期間に気管挿管下全身麻酔で人工心肺を用いる右小開胸低侵襲心臓手術を受けた18歳以上の方
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、体重、体高、術式、入院日数、電子麻酔記録情報（胸部レントゲン画像やCT画像、手術時間や人工心肺時間、輸血量、体温、血液検査結果、術後経過）など ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	右小開胸低侵襲心臓手術は、胸部の切開を小さくすることで、患者さんの身体への負担を軽減できる手術方法として広く行われています。一方で、この手術では、まれに「片側性肺水腫」と呼ばれる肺の合併症が発生することが報告されています。 当院では、この合併症の発生をできるだけ防ぐために、麻酔管理、手術手技および人工心肺管理においてさまざまな工夫を行っています。 本研究の目的は、当院で実施しているこれらの周術期管理が、片側性肺水腫の発生にどのような影響を与えているかを明らかにすることです。本研究の結果は、今後のより安全な右小開胸低侵襲心臓手術の実施に役立つことが期待されます。
研究の方法	過去に心臓大血管手術を行った患者さんを対象に、電子カルテや麻酔記録といった診療情報を用いてデータを収集し、統計解析を行います。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、

	下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学病院麻酔科 所在地：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 研究責任者：麻酔科蘇生科・須田康裕 電 話：0166-68-2583
--	--